新医学系指針対応「情報公開文書」改訂フォーム　　単施設研究用

当院 20 年間の骨転移および軟部転移患者の臨床的特徴： データベースを用いた後方視調査

１．研究の対象

高知大学医学部附属病院で 2000 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに固形癌（組織型は問わない）を原発とする転移性骨腫瘍（骨転移）または転移性軟部腫瘍と診断された方

２．研究目的・方法

がんの治療が進歩し、がんと診断された後も長く生活できる患者さんが増えています。一方でがんが骨に転移すると、痛みや骨折、歩行など日常生活への支障が生じることがあります。この研究では、高知大学医学部附属病院で 2000 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに治療を受けた骨転移の患者さんを対象に、どのような方が手術をはじめとした積極的治療を受けたのか、またそうした治療を行った場合と行わなかった場合で、生存期間や日常生活動作（ADL）にどのような違いがあったかを調べます。また、年齢やがんの種類、生活背景などによって、治療選択の判断や治療効果に違いがあるかについても検討します。

具体的な方法として、当院に蓄積された診療情報を用いて、骨転移の患者さんの年齢、がんの種類、治療内容、生存期間、日常生活動作などを調べます。患者さんを特定できないように情報を加工したうえで、統計的な方法を用いて、治療を受けた患者さんと受けなかった患者さんの背景や治療後の経過を比較します。本研究の研究期間は、研究機関の長の実施許可日～2030 年 12 月 31 日、また利用又は提供を開始する予定日は 2026 年 11 月 10 日です。

３．研究に用いる情報の種類

情報：電子カルテ上に記録された病歴、治療歴、年齢、日常生活動作などの情報を、個人が特定できないように加工したもの

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、下記までお申出下さい。

研究責任者/代表者：高知大学整形外科　村松脩大
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮 185-1

TEL:　088-880-2386
FAX:　088-880-2388